

お使いのカラーグレーディングソフトでの Canon IDT の対応に関しては、各メーカーにお問い合わせください。

■ EOS C500 / EOS C500 PL 用 IDT (.ctl ファイル) について

・ EOS C500 / EOS C500 PL 用 IDT (.ctl ファイル) にはタイプ A とタイプ B があり、出力端子やファイルによって変更する必要があります。

タイプ A は、3G-SDI の 2 系統、モニター端子の 2 系統、RMF ファイルに適用することができます。

タイプ B は、MXF ファイルと HDMI/HD-SDI 出力に対して適用することができます。

また、各 IDT (.ctl ファイル) は、撮影時の光源の色温度によって使い分ける必要があります。

「D55」は、タングステンを除く一般的な光源の元で撮影された画像に対して適用する必要があります。

「タングステン」は、タングステンのような低い色温度で撮影された画像に対して適用する必要があります。

・ なお、全ての IDT (.ctl ファイル) は ISO の設定による変更の必要はありません。

対象ファイル：

・ Canon_EOS_C500_IDT_A_D55_Ver.1.0.ctl
タイプ:A 光源:D55

・ Canon_EOS_C500_IDT_A_Tng_Ver.1.0.ctl
タイプ:A 光源:タングステン

・ Canon_EOS_C500_IDT_B_D55_Ver.1.0.ctl
タイプ:B 光源:D55

・ Canon_EOS_C500_IDT_B_Tng_Ver.1.0.ctl
タイプ:B 光源:タングステン

■ テスト画像 (TEST_SOURCE.DPX ファイル) の利用について

これらの画像は自社システムへの Canon IDT の組み込みをご検討いただくベンダー様向けに、処理結果のリファレンスデータとして提供するものであり、実際の撮影画像ではありません。また、処理の精度についてはご利用のシステムに依存するため、テスト画像との一致を保証するものではありません。

対象ファイル：

・ TEST_SOURCE.DPX
リファレンス入力データ

・ TEST_OUTPUT_C500_A_D55_Ver.1.0.EXR
Canon_EOS_C500_IDT_A_D55_Ver.1.0.ctl による処理結果

・ TEST_OUTPUT_C500_A_Tng_Ver.1.0.EXR
Canon_EOS_C500_IDT_A_Tng_Ver.1.0.ctl による処理結果

・ TEST_OUTPUT_C500_B_D55_Ver.1.0.EXR
Canon_EOS_C500_IDT_B_D55_Ver.1.0.ctl による処理結果

・ TEST_OUTPUT_C500_B_Tng_Ver.1.0.EXR
Canon_EOS_C500_IDT_B_Tng_Ver.1.0.ctl による処理結果